

R 5 年度の努力点と具体的方策

努力点	具 体 的 方 策
(1) 学校経営 の充実	① 学校教育目標の具現化を図るために、PDCA サイクルを確立させる。 ② 『目指す未来の宿っ子像』に迫るために、『宿っ子に育成する力』の資質・能力を重点化し、育成に努める。 ③ 教職員一人一人が専門性を発揮し、組織として教育活動に取り組む体制を整備し、組織運営の改善に努める。 ④ SDG s 目標と関連付けた教育活動を推進する。(地域の体験活動や認知症サポート学習等) ⑤ 学校・家庭・地域との連携・協働体制の確立を目指し、教育活動を一層充実させる。 ⑥ 特色ある教育活動(学力向上・体験活動)を推進・充実させる。
(2) 学習指導 の充実	① 大隅終末ベーシックの理念のもとに、「わかる授業」づくりに努める。('見通しをもつ」「振り返る」「見届ける」活動の重視) ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。 ③ 諸検査・調査等のデータ分析等、個々の情報を共有し、家庭とも連携しながら、個に応じた指導を充実させる。(個別ファイルの活用と管理、web 問題・よか問の活用) ④ 指導体制の工夫、タブレットや電子黒板等の ICT 機器を有効活用し、複式指導を充実させる。 ⑤ プログラミング教育のねらいを踏まえ、計画的に実施する。
(3) 生徒指導 の充実	① 生徒指導対策委員会、会合等での情報交換、教育相談等で全職員で情報を共有し、全職員態勢で児童理解に努める。 ② いじめ防止基本方針に基づき、いじめの早期発見・対応に努める。 ③ 特別活動(集会活動)を充実させ、互いの良さや可能性を認める場の設定と工夫をする。 ④ 幼・保・小・中、関係機関との連携を密にし、児童の健全育成(情報モラルを含め)を図る。
(4) 保健安全 指導の充 実	① TT 及び外部講師による保健指導により、健康づくりについての児童の意識を高める。 ② からだ元気週間を通して、家庭と連携して生活習慣を整える。 ③ PTA やスクールガード、子ども 110 番の家、子ども SOS の家、青パト隊、駐在所、地区公民館と連携しながら、交通安全や不審者への対応、安全マップの充実を図る。 ④ 朝の体力づくり運動を中心に一校一運動(一輪車)の実践に努める。 ⑤ 危険予知トレーニングにより、児童の危険予知能力を高める。
(5) 心の教育 の充実	① 「特別の教科 道徳」の授業を充実させる。 ② 地域や高齢者との交流など、豊かな体験を通して道徳性を育成する。 ③ 「心の教育の日」を設定し、道徳の授業参観を実施する。 ④ 作品応募・行事等の一人一役により、児童の一人一人のよさを生かす指導の充実に努める。(自己肯定感の育成)
(6) 人権教育 の充実	① 誰一人取り残さないという人間尊重の理念を基盤とし、学校教育活動全体を通じて人権意識を高め、一人一人を大切に教育を行う。 ② 人権週間の取組内容を充実させる。(全児童対象の授業の実施) ③ 同和問題をはじめとする人権問題についての正しい認識と理解を深める職員研修、人権週間の充実を図る。
(7) 教育環境 の整備・充 実	① 児童の学習の成果や学習意欲を高める校内環境設営を充実させる。 ② 言語環境を整備し、児童の言語活動の適性化を図る。 ③ ボランティア活動・清掃活動の徹底など、環境美化に努める。 ④ 学校緑化と花いっぱい学校づくりを推進する。 ⑤ 教材備品等の積極的活用と備品の管理に努める。 ⑥ 毎月安全点検を実施し、施設・設備の安全管理に努める。
(8) 職員研修 の充実	① 時代のニーズや学校の実態に応じた職員研修を実施し、使命感と指導力の向上を図る。 ② 教育課題を踏まえた研究テーマを設定し、授業を通じた実証的研究を行う。 ③ 個々の専門性やキャリアステージに応じた個人テーマを設定し、専門職としての資質向上に努める。 ④ 教育機関や先進校の研修に積極的に参加し、成果を共有し合うようにする。
(9) 家庭・地 域との連 携	① 学校運営協議会の機能化を図り、学校・家庭・地域が一体となった活力ある学校を目指す。 ② 各種通信(学校だより等)やメディア等を活用して、教育活動を積極的に情報発信する。 ③ 小中連携、幼保小連携を充実させ、切れ目のない個に対応した教育活動を推進する。 ④ キャリア教育・金銭金融教育と関連させ、食農体験活動、宿利原寺子屋塾の活動内容を充実させる。

